

### クレドール50周年記念限定モデル 四層に重なる緻密な彫金ダイヤル 数量限定5本、1,650万円



数量限定モデルの特徴は、クレドールの彫金の第一人者・照井清(てい きよよし)が、その匠の技を存分に発揮し、四層に重なるダイヤルから裏面のムーブメントへ繋がるストーリーを、彫金で表現している。デザインテーマは、「Panta rhei(パンタレイ)」。万物流転(ばんぶつるてん)すなわち「あらゆる存在は時の流れとともに変化して極まりない」の意味で、水の流れるようにとどめなく移り変わる「時」の概念を示す言葉だ。1974年のブランド誕生以降、絶えず「最高の美しさ」を探求し、他に類を見ない唯一無二の時計を生み出してきた

クレドール。誕生から50年の節目を迎えた今年、未来に向けて更なる歩みを進めていくクレドールの「志」を、水の流れるに立寄ってデザインした。ダイヤルでは、50周年を機に新たな一歩を踏み出すクレドールの「門出」を表現。一粒の雫が水面に放たれ、波紋となって広がる様を、四層に重なる彫金ダイヤルで表した。それぞれのダイヤルに彫金を施しながら、四層重ねたときに繋がりのある模様に仕立てている。5は、照井氏の匠の技だからこそ実現できるもの。これまで照井氏が手掛けたモデルの中で最も彫金量の多いものだ。ベース部分には、連続した細かな円を刻む「魚タ子(ななこ)」という緻密な模様や、藍(たがね)を使って付ける「六角荒らし」を用いており、水がとどめなく流れる様を、2本の線を彫って1本の太い線に見せる「袋彫り」や、どの角度から見ても歪みのない、圧倒的な輝きを

放つ鏡面彫りで表現している。また、水面に反射してきらめく日の光のように輝くダイヤモンドが、照井氏自身の手によって、30分ごとの位置に24個セッティングされており、アワーマーカーとしての役割も担っている。裏面から見えるムーブメントへの彫金は、クレドールの「未来への発展」を表現。一粒の雫から始まった水流が、やがて大河へと成長する様子を、波や水しぶきのような彫金で表している。5時位置には、ゴールドフェザーの証である「羽根」が、9時位置には、照井氏がこのモデルの全ての彫金を手掛けた証である「Tマーク」が彫金されている。クレドールはこれからも、日本人の感性と価値観で「美」への飽くなき探求を続け、手のひらに乗る精緻で気品を纏った時計を創造していく。そして、手にした人の心を満たし感動を与え、人生に彩をもたらすブランドであり続ける。

### CITIZENブランド100周年記念に 藍染和紙文字板の「The CITIZEN」 世界限定600本



時計の本質を追求し、卓越した精度を誇る高品質ウォッチ『The CITIZEN』から、「CITIZEN」ブランドの時計が誕生してから100周年を記念した世界限定600本のモデルが5月28日から発売される。年差±5秒の高精度光発電エコ・ドライブムーブメントを搭載し、藍で「筒巻き絞り染め」を施した和紙文字板が独自の注目モデル。価格は462,000円。ザ・シチズンでは藍で手染めした和紙文字板の製品を2022年に初めて発売し、「ジャパンプルー」ともよばれる深みがあり冴えた色合いが美しく、エコ・ドライブならではの光を透過させながら独特の風合いや色彩を表現できる和紙文字板として新境地となった。今回は、新たな表現として主に布の染色に使われてきた「筒巻き絞り染め」を取り入れた藍染和紙文字板と

なる。筒に和紙を巻き付けた後、細かなシワを寄せながら一定方向に向かって手練り、絞りと染色の工程を重ねることで繊細な絞り模様が完成する。手作業で染め上げた絞り模様や色合いにひとつとして同じものはなく、その陰影や奥行きは、大空に連なる雲のような美しい情景を表している。文字板には「常に先を見据え、理想を追求する」「身に着ける人に永く寄り添う」という「ザ・シチズン」の2つの意思を表すシンボルであるイーグルマークが配され、ゴールドカラーの秒針は、雲の切れ間から光が柱のように降り注ぐ様から「天使の梯子」とも呼ばれる神秘的な薄明光線を彷彿させる。さらに、年差±5秒の高精度エコ・ドライブムーブメントを搭載し、ケースとバンドには軽量で耐傷性に優れたスーパーチタニウム™を採用している。

### 銀座・和光限定のグラッドセイコー シルバーブルーのダイバースウォッチ



和光(東京都中央区、庭崎紀代子社長)は、国産腕時計の最高峰「グラッドセイコー」スポーツコレクションから和光限定モデルを、6月6日より販売、5月10日から予約を開始した。価格は935,000円、リアルナンバー入りで限定65本。ダイバースウォッチモデルの和光限定は2016年以来、8年ぶり。ベースは、ダイヤル研磨がもたらす歪みのない鏡面

仕上げをほどこしたケース、光沢感が際立つ回転ベゼルなどスポーティーな中にもグラッドセイコーらしい品格をあわせ持つダイバースウォッチ。2021年12月にアップグレードされ、視認性、判読性が高まった。これから夏に向かって装いも軽やかになり、日中はやや汗ばむくらいの気候を意味した初夏の季節「薄暑」。その季節に、爽やかな陽光が輝くセイコーハウスの空を、シルバーブルーのダイヤルで表現。明るい色は、和光限定ならではの特別感のあるカラーリングだ。20周年を迎えた自動巻スプリングドライブムーブメント キャリバー9R65を搭載。複雑に重なり合う輪列や受部品の立体的な連なりは、スプリングドライブ誕生の地である信州の山々の奥行きを連想させ、パワーリザーブ用輪列から香箱にかけては、穂高連峰や常念山脈を表現している。周年を祝い、数量限定で65本の販売だ。



### 人気の「ダース・ベイダー」 シチズンコレクションより 限定500本の 日本限定モデル

シチズンコレクションから数量500本限定で、人気の「ダース・ベイダー」日本限定モデルが5月16日より発売される。価格は60,500円。

ダース・ベイダーにインスピレーションを得たオールブラックのケースとバンドに、ライトセーバーを彷彿とさせる赤の差し色が特長。5時位置の小秒針部分にダース・ベイダーの横顔が描かれ、9時位置の24時間計には「タイ・ファイト」をレイアウト。赤い針が放たれたレーザーやライトセーバーを表現する。裏ぶたのスケルトン部分にも赤のアクセントカラーが配置されている。

### カラフルなダイヤルが個性 人気のTUYOSA Collection 2024年限定生産モデル

シチズンコレクションから人気のTUYOSA Collectionよりカラフルなダイヤルが個性の限定生産モデルが5月16日より発売される。価格は66,000円。



また、スポーティなラグレケースと腕なじみの良い3列バンドで快適な着け心地だ。シースルーバック使用のため回転する鍾(おもり)やメカの動きを楽しめ、さらに実用性も確保。カレンダー部分には拡大鏡をつけ視認性を高くしている。

### 独立系「ベレンス」を 大沢商会が販売開始

大沢商会は、2012年に設立された小さな独立系の機械式時計ブランド「BEHRENS(ベレンス)」の日本国内販売店契約を締結し、販売を開始した。ベレンスはドイツ工業デザインのパイオニアとして広く知られていたピーター・ベレンスに敬意を表し、若いデザイナーとメーカー、そしてマイクロエンジニアのチームによって2012年に設立された小さな独立系時計ブランド。ベレンスが掲げる時計作りのコンセプトは、「Non Traditional Design-従来型の時計作りの常識を覆すデザイン手法とマイクロエンジニアリングによってユニークな機械構造のオリジナルウォッチを次々に生み出してきた。現在は、阪急メンズ東京と阪急メンズ大阪にて先行販売中。「INVENTER」は、完全自社製ムーブメントを搭載、もしくはSWISSセリタ製キャリバーに自社製モジュールを組み込んだオリジナルムーブメントを搭載。より複雑で高度な時計づくりに挑



んだコレクション。Ultra-Light 20gはグレード5チタンケースと完全自社製ムーブメントBM02により実現した、20グラムという驚異の軽さ。カーブしたケースと同様に、ダブルレトログレードの時分針ほか輪列構造も曲面上に配置されており、極めて高い設計・工作精度が要求される。このモデルはベレンスの技術力を最もよく表している。価格は1,650,000円。Orion oneは、2024年最新作。ショーケースに見立てた、40ものファセットをもつユニークなかたちのケースと、独自構造の時分表示が

特徴。文字盤は秒針を含めた内部の輪列がすべて見えるスケルトン仕様だ。輪列構造から独特の方法で接続された時分表示は文字が3Dに浮き彫りされたローラー型の機構が担う。リューズのないデザインだが、時刻合わせもユニークだ。価格は770,000円。

載、Earth-Moon System 2.0にバージョンアップ。さらに見どころはマイクロチェーンドライブの時針。各コマにルビーが仕込まれたチェーンによって動く時表示を9時位置で読み取るデザインだ。価格は2,860,000円。

ROTAARYは、伝説の「ROTAARY」エンジンに敬意を表し、ロータリーエンジンの象徴的な構造をモチーフにダブルローターシステムを用いた時分表示機構。このモデルはスイスのジュネーブで開催された「GPHG」グランプリドールジュリー2020においてチャレンジャー賞にノミネートされた。価格は、990,000円。

Perigee(ペリジー)とは天文学用語で、近地点(月や人工衛星がその軌道上で地球に最も近づく点)エイボラーで実現した地球と月の現在の位置関係の表示をさらに高度に発展させた完全自社製ムーブメントBM01を搭載



未知の領域への探求のため、常に技術の限界を押し広げ、それを重んじるコレクターと分かち合っているアップロ(LVMHウォッチ・ジュエリー・ジャパン(株))は、メゾンの自社製クロノグラフムーブメントにスポットライトを当てた没入型体験を可能にした「ウニコ・エクスペリエンス」を発表した。これは、インターネット上で自社製クロノグラフムーブメント「ウニコ」を搭載したタイムピースの製造技術を鑑賞できるもの。パーソナルな時計職人がアップロのタイムピースの製造に必要な専門知識を説明しながら紹介。さらに、「ウニコ」が

ユニークな没入型体験をアップロが期間限定で提供する。3Dで精巧に描かれ、キャリバーHUB1280が組み立てられた後、どのように作動するかを総合的に理解できる。そして、最後に、特別なコンフィギュレーターが用意され、「ウニコ」を搭載した「ビッグ・バンウニコ」のオーダーメイドのタイムピースをデザインすることができる。ケースの素材やサイズ、ベゼルやダイヤルの色、ストラップのオプションなど、様々な選択肢から選べる。仕上げのディテールとして、名前やイニシャル、日付などを刻印することも可能だ。このユニークな体験は5月14日～19日までの期間限定で実施する。

### 金箔で満月を表現した漆塗り仕上げ デコールセイコーの新モデルが登場

セイコータイムクリエーション(株)は、最高級ブランドであるデコールセイコーより満月の情景を華やかに表現した時計2機種と機械式振り子時計1機種を発表した。いずれも風月塗りと名付けた華やかで雅な輝きが特徴の漆塗りを施し、美しい独自の色合いを楽しめる逸品に仕上げた。「風月塗」では東の空に昇る満月に穏やかな風が流れる心地よい情景を表現。背景の雲模様を塗りの上から、満月と霞を白檀塗りの技法で重ね

ることで、奥行きのある上品な華やかさを表現している。漆塗りは、すべての工程を職人により一つ一つ手仕事で丁寧に仕上げている。この「風月塗」は、1500年の歴史を持つ越前漆器の主な産地である福井県鯖



### 東海時計商事が エステサロン事業に参入 定額制サロンをオープン

全国でも数少ない独立系の時計・宝飾総合会社の東海時計商事(愛知県名古屋市、石黒嗣英社長)は、メンテナンス型フェイシャルサブスクサロン「REMENTE(リメンテ)」を運営する(株)BIMENTE(東京都中央区、白坂悠大代表)とFC契約を締結、東海

エリア初の加盟店として5月14日にREMENTE新栄店をオープンした。同社は「メイン事業で取り扱う時計・宝飾は、顧客が求める自身の理想の姿に向かっていくための大切なパートナー



### CITIZENブランド100周年を記念し 「ときの積層」テーマに、地層を構造色文字板で表現 7つのブランド横断コレクション

「CITIZEN」ブランド時計の100周年を記念し、悠久の時をかけて地球がつくりだした、地層や鉱物を構造色文字板で表現したブランド横断コレクション「LAYERS of TIME」全7モデルが『シチズン エクシード』、『シチズン アテッサ』、『シチズン プロマスター』、『シチズンコレクション』、『シチズンクロスシー』、『シチズンエル』の6ブランドから5月28日より数量限定で発売される。価格は66,000円～341,000円。また、アーティストの久保田利伸さんが「LAYERS of TIME」のために、新曲「the Beat of Life」を書き下ろし、「大変光栄です。「時の積層」人は時に磨かれる」という、この度のCITIZENさんのテーマからインスパイアを得て、年月の悲喜こももたが育んできた人生を、1本の太いGROOVEに置き換え、「the Beat of Life」ができました。熱のこもったパフォーマンスに

なっています。全身でお楽しみください」とコメントを寄せている。「CITIZEN」ブランド時計100周年を記念して、「ときの積層」をテーマに、地層や鉱物を構造色文字板で表現した、ブランド横断コレクション「LAYERS of TIME」全7モデルは、全てにシチズンの基幹技術である光発電エコ・ドライブを搭載している。100%再生ポリカーボネートの文字板に、富士フィルム株式会社の構造色インクを用いることで、悠久の時をかけて地球がつくりだした、地層や鉱物などを連想させる幻想的な輝きを表現。構造色文字板は色素による着色ではなく、インク層内のミクロな構造に光が反射することで現れる、さまざまな表情や色調が特長だ。クリーンエネルギーである光によって時を刻む「エコ・ドライブ」を体現しており、『シチズン エクシード』、『シチズン アテッサ』、『シチズン プロマスター』、『シチズンコレクション』の5モデルはベゼルやダイヤルの仕上げ方で、それぞれ異なる「ときの積層」を表現。また、『シチズンクロスシー』にはラボグロウ・ダイヤモンド、『シチズンエル』にはダイヤモンドをあしらうことで、上品な輝きをプラスした。

江江市に工房を構える山内うし工芸とセイコータイムクリエーションが共同開発した創作塗りと。機械式振り子時計の「息吹」(AS503R)は同社が半世紀ぶりに蘇らせた機械式ムーブメントを搭載した。機械式掛時計。部品はすべて日本国内で製造し、当社クロック工房で一点

ずつ技術者が組み上げている。機械式時計はメンテナンスを行うことで永く、世代を超えて使うことができる。ケースは天童木工の手によるプライウッド製。文字板に加え、振り子の後ろに見える飾り板にも「風月塗」を施し、より華やかさを増した風合いを楽しめる。価格は1,760,000円。